

科目ナンバリング		U-LAS52 10001 LJ22									
授業科目名 <英訳>		博物館資料保存論 Museum Collection Preservation				担当者所属 職名・氏名		総合博物館 教授 村上 由美子 総合博物館 助教 竹之内 惇志			
群	キャリア形成科目群			分野(分類)	学芸員課程			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	火4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
学芸員養成課程に関する講義の一つで、博物館資料保存論について扱う。博物館における文化史、自然史、技術史などの一次資料の保存及びその保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を習得する。それを通じて、資料の保存に関する基礎的能力を養うとともに、博物館の資料を取り巻く現状についての理解を深める。											
[到達目標]											
学芸員資格に必要とされる博物館資料保存論の知識を習得する。											
[授業計画と内容]											
博物館における資料保存の意義（2回） 博物館資料の保存環境（5回） ・資料保存の諸条件とその影響（温湿度、光、振動、大気等） ・生物被害とI P M(総合的有害生物管理) ・自然史標本の保存（水銀等を含む標本の保存、標本ラベル保存の重要性） ・災害の防止と対策（火災、地震、水害、盗難等） ・伝統的保存方法 ・収蔵、展示等の保存環境 資料の保全（4回） ・資料の状態調査・現状把握 ・資料の修復・修理 ・資料の梱包と輸送 環境保護と博物館の役割（3回） ・地域資源の保存と活用（エコミュージアム等） ・文化財の保存と活用(景観、歴史的環境を含む) ・自然環境の保護（生物多様性・種の保存を含む） フィードバック（1回）											
[履修要件]											
学芸員資格取得希望者を対象とする。											
[成績評価の方法・観点]											
定期試験（筆記）と平常点によって評価する。両者の割合は5割ずつとして評価を行う。平常点は毎回提出する課題により授業への参加状況を評価する。											
----- 博物館資料保存論(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

博物館資料保存論(2)

[教科書]

石崎武志 『博物館資料保存論』（講談社）ISBN:978-4-06-156503-6

上記の教科書に即した内容のプリントを配布して授業を行う。教科書は復習にも使えるよう各自持っておくこと。

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で習得した内容を、博物館などに出かけたときに現場で確認すれば、知識をより確実に身につけることができる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]